



記者発表日

令和8年4月24日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ
広島県政記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

中国インフラDXセンターの体験会が始まります！

-最先端のインフラDX技術を備えた拠点で体験ができます-

- 中国インフラDXセンターは、令和6年12月18日（水）開所し、令和7年度は学生、地方自治体、建設業界、自治会など1100名を超える方に最新のDX技術をご体験いただきました。
- 令和8年度は6月4日（木）から体験会を開始する予定で、4月24日（金）から受付を始めます。
- 当施設は、インフラDXに関しては中国地方随一の拠点です。省人化や効率化に資する新しい技術を是非体感してください。

■ 体験期間：令和8年6月4日（木）～令和9年2月25日（木）

■ 体験可能日：木曜日（閉庁日除く）

午前・午後、1回ずつの開催を基本。

■ 受付：webにより申込み

詳細は、ホームページをご覧ください。

<https://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/innfra-dx/entry.html>

■その他：報道関係者の方の取材や体験は随時受け付けておりますので、ご希望の際は下記までお問い合わせください。

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 中国地方整備局 中国技術事務所



Chugoku Infra DX

総括技術情報管理官
【担当】維持管理技術課長

かしはら よしひこ
柏原 良彦
こうの かずのり
河野 和典



中国技術事務所HP

住 所：広島県広島市安芸区船越南2丁目8番1号

電 話：082-822-2340（代表）

URL：<https://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/>

①3次元測量体験

【地上型レーザースキャナ/Lider】

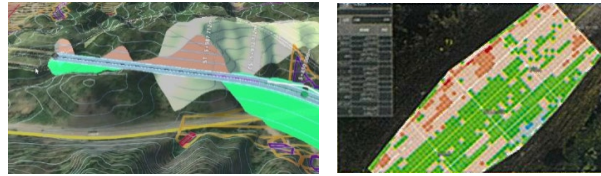
【内容】設計前の路線測量や施工管理として行う、高密度な点群計測を高速・短時間で実施可能な「地上型レーザースキャナ」や、点群計測がスマホで手軽に実施可能な「Lider」等の体験ができます。



②3次元設計体験・出来型管理

【BIM/CIMソフトによる半自動設計他】

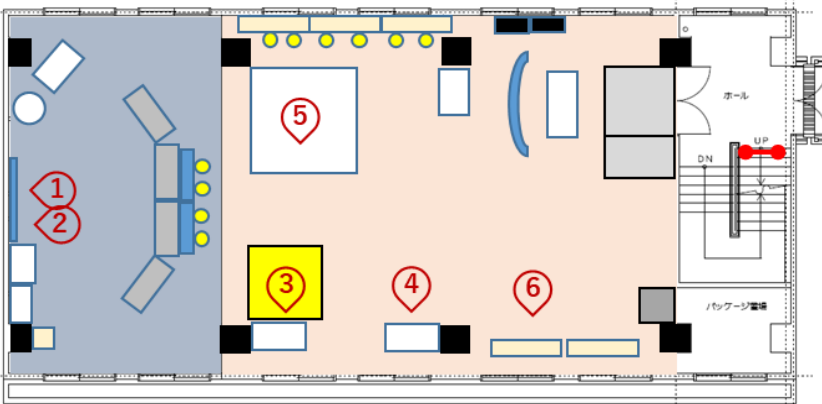
【内容】試行錯誤を繰り返す道路概略設計の数量計算作業を自動化する機能を有するBIM/CIMソフトを用いた3次元設計や、ICT施工で作成が求められる3次元設計データをソフトを用いて簡単に作成できる体験が出来ます。



③VR(仮想現実)体験

【VR技術によるメタバース体験他】

【内容】メタバース上に広島市内の浸水シミュレーションを再現。VRゴーグルを介して、圧倒的な没入感で浸水の危険を疑似体験ができます。



イメージ



屋外体験【ワンマン計測】

【内容】自動追尾式光波計測器等の活用により、早く・少人数で効率的な測量の体験ができます。



④AR(拡張現実)体験

【視点場からの眺望の可視化他】

【内容】視点場からの眺望のイメージを共有するべく、現実の背景に計画する構造物の3次元モデルをタブレットを介して重ね合わせて表示する、拡張現実の体験が出来ます。



⑤遠隔操縦/ICT建機施工体験

【遠隔操縦バックホウ/バックホウシミュレータ】

【内容】ICTバックホウ(3Dマシン)の遠隔操縦を体験できます。
※運転資格をお持ちでない方にも操縦体験頂けます。



⑥遠隔臨場体験

【コンクリート構造物の品質・出来形確認】

【内容】ウェアラブルカメラやWeb会議システムを用いて、遠隔地から現場のコンクリート構造物の品質や配筋を確認する体験ができます。



■DX体験の申込み

○体験を希望される方は、以下のURLを御覧いただき、webによりお申し込みください。

【申込みURL】

<https://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/innfra-dx/entry.html>

■中国インフラDXセンター場所

中国技術事務所(広島市安芸区船越南2-8-1)
敷地内

※お車は構内に駐車できます。



入口写真



出典:国土地理院(電子国土Web)をもとに
中国技術事務所で加工して作成